

エホバの証人^{しょうにん}の子ども^こたちへ

子どもの頃^{ころ}にエホバの証人^{しょうにん}だった人^{ひと}たちからメッセージが届^といていま^どす。

わたし^{わたし}たちは、エホバの証人^{しょうにん}として育^{そだ}てられました。証人^{しょうにん}だったおや^{おや}から、さまざ^{さま}な制限^{せいげん}や体罰^{たいばつ}を受^うけて育^{そだ}ちました。あまりにも体罰^{たいばつ}が激^{はげ}しく、体^{からだ}に傷^{きず}が残^{のこ}ってしまった人^{ひと}もいま^{こころ}す。心^{こころ}を病^やんでしまった人^{ひと}も大勢^{おおぜい}いま^いす。

げんざい^{げんざい}では体罰^{たいばつ}も減^へったよう^{ねん}ですが10年^{ねん}～20年^{ねん}位^{ねんくらいまえ}前^ままでは、も^ものみの塔^{とう}協^{きょう}会^{かい}の指^し示^じに従^{したが}ってエホバの証人^{しょうにん}たちはそのよう^{よう}な体罰^{たいばつ}中^{ちゆう}心^{しん}の子^こ育^{そだ}てを^{ちいきさ}していま^いした(地^ち域^{いき}差^さもあ^ありま^ます)。1993^{しんぶん}年^{ねん}にエホバの証人^{しょうにん}の子ども^こが体罰^{たいばつ}で死^し亡^{ぼう}し、ニ^{しんぶん}ュ^んー^{ぶん}ス^{ぶん}や新^{しん}聞^{ぶん}で^きほう^きどう^き報道^きされてから、エホバの証人^{しょうにん}内^{ない}にお^{たいばつ}ける体罰^{きゆうそく}は急^き速^きに消^きえ^きて行^いきま^いした。

また、エホバの証人^{しょうにん}以外^{いがい}の人^{ひと}たちは悪^{あく}魔^まサ^さタ^たンの支^し配^{はい}下^かにあ^ある、エホバの証人^{しょうにん}でい^{しあわ}れば幸^{しあわ}せにな^{しあわ}れる、エホバの証人^{しょうにん}以外^{いがい}の^{じょうほう}じ^{しん}ょう^{しん}ほう^{しん}情^{しん}報^{ほう}を信^まじてはい^まけ^まない、間^まもな^まくハ^くル^くマ^くゲ^くド^くン^くが来^くるから

だいがく^い 大学に行くべきではない、せいしゃいん^{しごと} 正社員の仕事をすることもふさわしくな
い、^い ^{そだ} ^{しん} ^{おお} ^{なかま} ^{しんがく} と言われて育ちました。それを信じて多くの仲間が進学も
しゅうしょく^{かいたくしゃ} 就職もせず、開拓者としての人生^{じんせい} ^{あゆ} を歩みました。

しかし、^く ^{いま} ^き 来るはずだったハルマゲドンはまだ来ていません。ハル
マゲドン^こ ^{じんせいせつけい} ^{くる} ^{しんじゃ} ^{なか} ^{たくわ} が来ないことで人生設計の狂った信者の中には、蓄え
も^な ^{ろうご} ^{むか} ^{こんきゅう} ^{ひと} ^{ひにく} 無いまま老後を迎えて困窮している人もいます。皮肉なことに、
よ^{たいせい} ^{さげす} ^{せいふ} ^{せいかつほご} ^う ^{せいかつ} 世の体制と蔑んできた政府から生活保護を受けて生活している
ひと^{しょうらい} ^{ひかん} ^{こころ} ^や ^{みずか} 人もいます。将来を悲観して心を病んでしまったり、自ら
いのち^た ^{かた} 命を絶ってしまった方もいます。

ものみの^{とうきょうかい} 塔協会は、「もうすぐハルマゲドン^く に来る」と100^{ねんまえ} 年前
から^い ^{つづ} ^{いま} ^{なんど} ^{よげん} ^{はず} 言い続け、今まで何度もその予言を外してきました。しかし
いちど^{しゃざい} ^{すこ} ^{むずか} ^{ほん} ^{とう} 一度も謝罪はしていません。少し難しい本ですが、ものみの塔が
い^{りょうしん} ^{きき} ^{ほん} ^{くわ} 言ってきたことやってきたことが、「良心の危機」という本に詳し
く^か ^よ 書かれていますので、ぜひ読んでみてください。

あなたたちのお父さん、お母さんは、きっと^{こころ} ^{じゅんすい} 心が純粹で、あな
たたちに^{しあわ} ^{しょうにん} 幸せになってほしくて、エホバの証人^{しょうにん} にいるようにと

そだ 育^{そだ}てているかもしれません。しかし、常^{つね}にお父^{とう}さん、お母^{かあ}さんが言^いっていることが正^{ただ}しいとは限^{かぎ}らないのです。私^{わたし}たちは、少^{すこ}しでもはやくエホバの証^{しょうにん}人^やを辞^やめれば良^よかったと、大^{おとな}人^いになった今^{いま}になつて後^{こうかい}悔^{かい}しています。

この世^よの中^{なか}にもた^すくさんの素^{すてき}敵^{ひと}な人^{ひと}がいます(もちろ^{わる}ん、悪^{ひと}い人^{ひと}もいますので、気^きを付^つけて下^{くだ}さいね)。実^じ際^{さい}、この世^よの人^{ひと}のほう^{こころ}が心^{こころ}優^{やさ}しい人^{ひと}が多^{おほ}いこと^{きづ}に気^き付^つき、た^たくさんのこの世^よの人^{ひと}たち^{たす}に助^{たす}けられながら、私^{わたし}たちは今^{いま}まで生^いきてこ^あられていま^んす。ど^あうか安^{あん}心^{しん}してください。

くる苦^{くる}しいこと^{こま}や困^{こま}ったこと^あが^あつたら、お巡^{まわ}りさん^{さん}や、信^{しん}頼^{らい}できるが^がっこう^がっこう^{せん}せんせい^{せい}はな^{はな}学校の先生^{せんせい}に話^{はな}してください。

また、電^{でん}話^わで相^{そう}談^{だん}するところ^{ところ}もあ^あります。

・こども電^{でん}話^わチャイルドライン

0120-99-7777 (毎^{まい}週^{しゅう} 月^{げつ}～土^ど 16:00～21:00)

とちぎ さいたま とうきょう やまなし あいち にちようび
栃木、埼玉、東京、山梨、愛知では日曜日^{にちようび}もつな^{つな}がります

・もしもしホッ^ほト^とライン

050-3046-6745 (土^ど日^{にち}祝^{しゆくじつ} 日^{じつ}の 15:00 から 23:00)

・ヤング・テレホン・コーナー

03-3580-4970(平日^{へいじつ} 8:30 から 20:00 土日祝日^{どにちしゆくじつ} 8:30 から 17:00)

また、2世^{せい}の方向^{かたむ}けの掲^{けい}示^じ板^{ばん}「陽^ひの当^あたる場^ば所^{しょ}」

<http://8106.teacup.com/akimoto21/bbs>

で相^{そう}談^{だん}をすることもできます。

これからどのような道^{みち}を選^{えら}ぶかによって、皆^{みな}さんの人^{じん}生^{せい}は大^{おお}きく
変^かわります。どうか、ものみの塔^{とう}協^{きょう}会^{かい}の言^いっていることだけでな
く、た^{ほん}く^よさんの本^{ほん}を読^よみ、ネ^{じょう}ッ^{ほう}で情^{じょう}報^{ほう}を調^{しら}べ、幅^は広^ばい知^ち識^{しき}を
得^えて視^し野^やを広^{ひろ}げ^{ひろ}たう^えで、ご自^じ分^{ぶん}で判^{はん}断^{だん}され^されて^れく^くだ^ださい。

わた^わた^たし^しは、ものみの塔^{とう}を抜^ぬけ出^だして、この世^よの人^{ひと}として新^{あた}ら^らしい
人^{じん}生^{せい}をス^すタ^たー^ととさせています。そこではた^{とも}く^だち^ちさんの友^{とも}達^{だち}が^すでき、好^す
きな仕^し事^{ごと}をして、休^{きゅう}日^{じつ}には自^じ分^{ぶん}で選^{えら}んだ趣^{しゅ}味^みを^{たの}し^しん^{しん}だ^りするこ
とができるようになり、子^こども^この頃^{ころ}よりも幸^{しあ}せ^わな毎^{まい}日^{にち}を^おく^く送^くって^い
ます。

みなさんが元^{げん}気^きで楽^{たの}しく、幸^{しあ}せ^わな人^{じん}生^{せい}を^あゆ^ゆめるようにと願^ねって
います。